

四国の川を考える会 令和5年度助成事業報告書

助成事業名：那賀川源流コンサート開催

主催：那賀川アフターフォーラム 後援：ゆきかう那賀川推進会議
協賛：(一財)日垂ふるさと振興財団 四国の川を考える会
那賀川工業用水利水者協議会 長安口ダム工区連絡協議会

那賀川アフターフォーラムでは、那賀川流域の住民が音楽を通じて交流を深める源流コンサートを毎年秋に開いています。今年で14回目を迎えることとなります。上流の源流近くの四季美谷温泉駐車場特設会場で、令和5年11月19日に開催しました。

絶好の好天に恵まれ、紅葉した落ち葉が舞う自然のなかでの演奏会となりました。10組約25人の方に出演頂き、約120人の方に演奏を楽しんでいただきました。

最初に主催者の那賀川アフターフォーラムの中村貴志会長、ゆきかう那賀川推進会議の安永一夫事務局長より挨拶があり、引き続きコンサートの開始になりました。

今回、初の試みとして、丹生谷清流座による阿波人形浄瑠璃寿二人三番叟の公演があり、参加者の皆様に福を授けて頂きました。次いで恒例の小学生の“小さなピアニスト”によるピアノ演奏、ギターの弾き語りがありました。

OZAKI,スーG、TAKAのしっとりとした弾き語りは秋の風情にピッタリでした。オカリナのアマポーラは音楽が秋の自然のなかにしみこんでいく印象でとても良かったです。最終の佐那人(さななびと)の皆さんの賑やかな演奏で会場は大いに盛り上がりました。

最後に出演者と観客全員で、童謡「故郷(ふるさと)」の大合唱で幕を閉じました。皆さんの熱のこもった演奏と会場の盛り上がりで予定時間をオーバーしお腹もすきましたが、参加記念品の源流餅をほおぼって空腹を満たしている方もいました。お餅もとても美味しかったです。

新型コロナの感染拡大のなか、R2,3年とやむなく中止しておりましたが、昨年は感染防止対策を実施して、3年ぶりの開催でした。今年は、コロナ禍も沈静傾向でやっと通常が戻ってきた感じです。那賀川のオリジナルキャラクター「りゅうな」も登場して、大いに盛り上げてくれました。

ご出演いただいた皆様、ご来場いただいた皆様、会場設営等御世話になった皆様、本当にありがとうございます。



丹生谷清流座による阿波人形浄瑠璃「寿二人三番叟」



出演者全員で記念撮影（向かって左端が、りゅうな）



小さなピアニスト



ギター演奏



オカリナ演奏



佐那人(さななびと)